

目指す都市像 (政策)	施策	課名	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って、 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄	
			●は主担当課	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)						29年度(実績)
1. 安心・安全なまち	1. 災害に備える都市基盤と体制の強化	●危機管理課	自主防災組織に加入している世帯の割合(%)	73.5	73	73	73	100	75	75%	自主防災組織加入率の未達成	未結成地域への啓発	×		
		道路河川課 住宅政策課 建築指導課	避難所施設の耐震化率(%)	81	81	90	90	100	90	90%	避難所施設の耐震化率の未達成	特になし	×		
	2. 耐震対策の推進	●建築指導課	住宅の耐震化率(%)	-	-	80	-	90	-	-	-	耐震化率について、27年度実績値と29年度目標値に差がある。	各種啓発により、必要性を認識してもらい、耐震化を推進する。	△	
			市立幼稚園・小中学校の耐震化率(%)	92	95	100	100	100	100	100%	100%	特になし	特になし	◎	
	3. 消防体制の強化	●危機管理課	消防団加入率(%)	92	93	92	92	100	90	90%	本市における抜本的な消防団員確保の手法が見出せなかった。	今後も消防団員を確保するため様々な方策を実施していくが、入団後早期の退団率が上がってしまうような事態は避けなければならない。	△		
	4. 安心・安全な地域づくりの推進	●生活交通課	青色防犯パトロール隊団体数(団体)	11	12	12	12	16	13	81.0%	登録台数の増加より、団体数が少なかった。	更なる結成交付金の存在をPRしていく必要がある。	△		
			公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合(%)	-	-	-	-	60	-	-	-	調査未実施	明確な指標とは言えず、これに替わる目標設定が必要	△	
			コミュニティバスの利用者数(人)	31,290	33,058	37,188	38,646	30,000	37,486	124.0%	特になし	路線再編に伴い、周知定着を積極的に行う。	◎		

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
2. 福祉と健康づくりで明るいまち	1. 保健活動・疾病予防の推進	●健康増進課	「こんにちは赤ちゃん訪問」実施率(%)	98.1	97.9	98.4	98.6	99.0	97.8	98.8%	里帰りが長引き、期間中に訪問できないケースがある	可能な限り、里帰り先の市町村に依頼するが、里帰りの訪問を実施していない市町村が存在する。	○	
			1歳6ヶ月時健康診査の受診率(集団)(%)	96.2	97.1	96.8	95.9	97	97.6	100.6%	特になし	特になし	○	
			1歳6ヶ月時健康診査の受診率(個別)(%)	95	94.3	93.3	93.3	94	94.5	100.5%	特になし	特になし	○	
			2歳になったときに、麻しん・風しんの予防接種を終了している人の割合(%)	97.1	114	96.4	94.4	98	98.1	100.1%	特になし	特になし	○	
			肺がん検診受診率(%)	20.8	22.5	23.5	22.5	25	23	92.0%	特になし	情報媒体を活用した受診啓発	○	
	2. 医療サービスと救急医療体制の充実	●健康増進課	休日夜間応急診療所(受診実績)(人)	12,744	13,325	12,300	12,302	14,000	11,926	85.2%	特になし	施設及び設備等の老朽化が進んでおり、診療所のスペースの問題や感染症対策等の課題解決について検討が必要である。	○	
			休日夜間応急診療所(小児受診実績(内数))(人)	7,961	7,876	7,609	7,207	9,500	6,890	72.5%	特になし	中南和地域における小児救急医療の拠点として、さらなる医療体制の充実を図る。	○	
			二次救急輪番病院患者受入数(人)	6,141	2,523	6,821	6,557	5,000	6,222	124.4%	特になし	今後も輪番病院と連携し、中和医療圏(8市町村)、関係機関と協力した広域の救急医療体制が必要である。	○	
	3. 地域における福祉活動の充実	●福祉総務課 健康増進課	16小学校区地域福祉推進委員会の広報紙発行回数(回)	23	23	20	20	32	20	62.5%	人材の育成	人材の育成と引き続きフォローを行う。	△	

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
4. 社会保障の充実	●保険医療課 福祉総務課 生活福祉課 市民窓口課	●保険医療課	特定健康診 査受診率 (%)	28.1	30.1	30.1	30.4	60	29.9	49.8%	特になし	未受診者対策の さらなる実施	△	
		福祉総務課	特定保健指 導実施率 (%)	6.8	3.4	11.6	5.5	60	8.4	14%	特になし	未受診者対策の さらなる実施	△	
		生活福祉課 市民窓口課	国民健康保 険1人当 たりの医療費 (円)	319,809	329,725	342,201	338,868	300,000	356,876	84.1%	特になし	未受診者対策の さらなる実施	△	
5. 高齢者 支援体制 の充実	●介護保険課   地域包括支援課	●介護保険課	要介護認定 者に占める 施設介護 サービス受 給者の割合 (%)	24.3	22.9	22.8	22.8	24.2	22.8	94.2%	特になし	サービスの需要 と供給のバランス を鑑みる。	△	
		地域包括支援課	通所事業開 催回数 (回)	—	—	110	85	150	90	60.0%	特になし	目標値が高すぎ るため現実的な 水準に改める。	△	27年度から の事業
		地域包括支援課	ふれあいサ ロン参加者 数(人)	11,756	12,996	14,175	14,250	13,200	15,637	118.5%	特になし	広報・啓発の充 実により利用者 を拡大させる。	◎	
		地域包括支援課	安否確認型 緊急通報装 置の利用 (件)	104	128	138	143	150	152	101.3%	特になし	広報・啓発の充 実により利用者 を拡大させる。	◎	
6. 高齢者 の生きが い対策の 推進	●地域包括支援課	●地域包括支援課	老人クラブ 加入団体数 (団体)	—	58	54	56	62	50	80.6%	特になし	クラブ員の高齡 化と担い手不 足。	○	
		●地域包括支援課	高齢者大学 校受講者数 (人)	226	231	199	229	270	211	78.1%	特になし	生涯学習のき っかけづくりと なる事業内容の 改良。	△	
7. 障がい のある人 の自立支 援と社会 参加促進	●障がい福祉課	●障がい福祉課	居宅介護等 の利用者数 (人数/ 月)	171	187	187	193	224	228	101.8%	特になし	迅速な業務の処 理と効率化	○	
		●障がい福祉課	移動支援事 業の利用者 数(人数/ 月)	171	190	201	219	225	303	134.7%	特になし	迅速な業務の処 理と効率化	○	
		●障がい福祉課	就労継続支 援(雇用 型)利用者 数(人数/ 月)	18	45	63	81	38	91	239.5%	特になし	迅速な業務の処 理と効率化	○	

目指す都市像 (政策)	施策	●は主担当課	実績 (何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			課名	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)					
3. 子どもの成長と学習を育むまち	1. 子育て世帯への支援体制の強化	●子育て支援課 保険医療課 こども未来課	保育所入所待機児童数(人)	19	12	96	45	0	20	56%	特になし	さらなる児童の受入拡大に取り組み子育て施策を推進する	△	達成度については、28年度からの減少分である。1-(20/45)
			こども広場一時預かり利用者数(人)	370	373	339	404	800	422	53%	特になし	より一層の周知と限られた人員のなかで取り組めるように工夫する	△	
	2. 児童の健全育成の充実	●子育て支援課 飛騨コミュニティセンター 大久保コミュニティセンター こども発達支援課	放課後児童クラブ希望者入所率(%)	100	100	100	100	100	100	100%	特になし	施設整備について教育委員会との連携を強化する	○	
			子ども総合支援センターの内かしの木園待機者数(人)	34	12	0	10	0	0	0	100%	ケースに対するセンター全体での検討会	関係部署や関係機関との連携の質を向上させる	○
	3. 青少年の健全育成の推進	●社会教育課	青少年センター巡回指導等回数(回)	326	350	348	356	255	366	143.52%	特になし	順調に事業が進んでおり、今後も同様に継続していく	◎	
			青少年センターと指導委員の合同街頭指導回数(回)	67	62	66	66	65	63	96.92%	特になし	順調に事業が進んでおり、今後も同様に継続していく	◎	
			こども教室参加人数(人)	5,517	4,713	3,966	5,410	7,000	5,362	76.6%	特になし	魅力的な子ども教室の運営	○	
	4. 幼児教育の充実	●学校教育課	公立幼稚園の預かり保育1日当たりの利用者割合(%)	31.6	33.6	23.2	23.3	50	23.1	46.2%	基本的には保護者の希望で利用するため、保護者の就労が思ったより少なかった	園により利用者数に大きな差がある	◎	目標設定値が大きすぎる
			特別支援教育対応教員1人当たりの対象園児数(人)	5.2	5.7	7.5	9.7	3	9.1	32.9%	年々支援を要する園児の入園が増えている	特になし	△	現状では目標達成が難しい数値である。
		教育総務課	公立幼稚園教員1人当たりの公立幼稚園児数(人)	9.8	8.7	8.8	8.7	8	9.1	87.9%	学級編制の基準では、34名までが1学級となる	特になし	△	現状では目標達成が難しい数値である。
			幼保一体化や統廃合により適正化が図られた幼稚園数(園)	5	5	5	5	6	5	83.3%	適正配置検討委員会で話しあわれている(地域からの要望もある)	集団に適する人数を考えていくと、方向的には必要であるため	△	

目指す都市像 (政策)	施策	●は主担当課	実績 (何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄	
			課名	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)						29年度(実績)
			●は主担当課												
5. 学校教育の充実	●学校教育課	児童1,000人当たり小学校不登校児童数(人)	5.6	4	4.3	5.5	3	4.6	153.3%	不登校児童、個々への対応が不十分であった	不登校児童に対し個々に対応できる人材が必要である	△			
		生徒1,000人当たり中学校不登校生徒数(人)	30.8	34.9	30.0	36.0	10	37.4	374.0%	不登校生徒、個々への対応が不十分であった	不登校生徒に対し個々に対応できる人材が必要である	△			
	教育総務課	市費のスクールカウンセラー相談件数(小中学校)(件)	573	686	641	687	900	504	56.0%	実際の相談件数が少なくなった	スクールカウンセラーの周知が必要である	○	目標値に対して増える方が良いのか、減る方が良いのか疑問を感じる		
		安全安心メール登録件数(件)	6,341	6,581	6,871	7,253	6,700	8,208	122.5%	年々登録件数が増え、目標値に達した	特になし	◎			
6. 人権教育の推進	●人権教育課	地区別懇談会の開催数(回)	26	28	28	25	49	27	55.1%	特になし	今後も継続して開催箇所数の増加に努める。	○			
		地区別懇談会の参加者数(人)	1,201	1,245	1,328	1,109	2,000	1,176	58.8%	特になし	工夫することで参加者数の増加を図る。	○			
		人権啓発ポスター応募数(件)	1,764	1,581	1,540	1,496	1,900	1,582	83.3%	特になし	継続して取り組む。	○			
		人権啓発標語応募数(件)	3,443	2,962	3,391	3,318	3,400	3,224	94.8%	特になし	継続して取り組む。	○			



目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績 (何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
3. 人権意識の高揚	●人権政策課 企画政策課	人権啓発講座の開催回数(回)	14	12	12	14	20	14	70.0%	講座の回数が少なかった。	新たな啓発手法の模索	△		
		講演会の参加者数(人)	497	312	375	379	750	387	51.6%	参加者が少なかった。	様々な手段での啓発活動	△		
		飛騨コミュニティセンター 利用者数(人)	17,242	16,181	16,159	16,841	20,000	17,043	85.2%	概ね目標を達成できた。	計画的な施設の整備等	○		
		大久保コミュニティセンター 利用者数(人)	22,545	22,352	24,783	23,576	24,000	23,897	99.6%	概ね目標を達成できた。	計画的な施設の整備等	○		
	4. 男女共同参画社会の形成	●人権政策課	審議会等における女性の登用率(%)	22.1	21.2	22.3	21.7	30	21.8	72.7%	女性の審議会への参画が十分ではなかった。	様々な分野で活躍している女性の人材情報の収集・提供を行い、審議会等への登用を図る	△	
			男女共同参画広場における講座回数(回)	56	60	56	51	40	44	110.0%	特になし	女性と男性が性別年齢に関りなく、いつでも、どこでも、学ぶ機会が得られるような学習機会の提供。	△	

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
5. 人と文化がふれあうまち	1. 文化財の保護と活用	●文化財課 世界遺産・文化資産活用課	特別史跡藤原宮跡の国有化(単位:m <sup>2</sup> )	50.0	50.7	51.9	52.6	54.9(63.5%)	53.06	96.6%	文化庁予算での執行であり、達成できなかった。	文化庁の事業予算の確保を要望する。	△	
			史跡丸山古墳の公有化(単位:m <sup>2</sup> )	61,231	65,682	66,157	66,440	73,946(82%)	66,440	89.8%	目標とする公有化率に到達できなかった。	公有化協力者に対し、交渉を着実に進め、目標値に向けて公有化を進めていく。	△	
			歴史に憩う 榎原市博物館 入館者数(単位:人)	-	10,236	7,898	8,308	10,000	9,707	97.0%	目標とする入館者数に到達できなかった。	博物館の周知を促進していく。	△	
	2. 文化芸術活動の振興	●文化振興課	かしはら万葉ホール自主公演事業の参加者数(人)	3,740	4,101	4,354	3,576	4,500	3,240	72.0%	1事業あたりの参加者数は年々増えている。販売数の少ないクラシックコンサートの取りやめはできない。	販売数の少ない事業の継続か中止かの検討を行う。	△	
			かしはら万葉ホール貸館利用率(%)	39	35	36	35	50	35	70.0%	ロマンピアホールの利用率は目標通りで、レセプションホールについては50%を超えている。展示ギャラリーについては約20%と大きく目標を下回っている。	展示ギャラリーをどのように利用していただくか検討をする。	△	
	3. 国際・地域間交流の推進	●企画政策課 観光政策課	榎原市観光訪問団と宮崎市観光訪問団への参加者数(人)	67	73	53	76	100	86	86.0%	参加者の高齢化・固定化され、活発な交流とは言えない部分があった。	参加者の将来に向けた若返りを図るべく児童交流と交互に実施する。	△	
			海外を訪問した市民訪問団と海外からの訪問団参加者数(人)	30	5	13	44	60	6	10.0%	社会情勢等により事業を中止せざるおえないケースがあった。	社会情勢等に左右されにくく安全で実効性が高い交流をする	△	
			「榎原と宮崎の物産展」への出展業者数(事業者)	56	55	49	47	45	46	102.0%	榎原市からの出店業者の多くが固定化され、幅広く榎原市の物産品でPRできなかった。	出店事業者の応募が少ないため、出店業者が参加しやすい物産展の検討が必要。	△	

目指す都市像 (政策)	施策	●は主担当課	実績 (何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄	
			課名	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)						29年度(実績)
4. 歴史文化を活用する観光の振興	●観光政策課 企画政策課		橿原市・宮崎市間の修学旅行の派遣、受入数(校)	-	1	1	1	5	0	0.0%	関係部署との連携が行えず誘致が進まなかった。	関係部署との連携を図り積極的な誘致活動を行う必要がある。	×		
			観光客総数(人)	4,144,101	4,521,130	4,583,242	5,432,382	4,800,000	4,754,894	99.1%	本市の魅力「橿原ブランド」の発信手段の更なる工夫が必要であった。特に海外への発信についてはSNSなどの活用が不足している。	「橿原ブランド」だけでなく中南和などの広域的な連携を密にし国内外に発信していく。また、通訳案内士の育成など受入環境も整備していく。	△		
			ボランティアガイド案内客数(人)	7,466	7,140	7,516	6,566	8,200	6,995	85.3%	観光客の満足度向上のためのボランティアガイドのスキルアップができていない。	ホスピタリティ、マナー、話し方などのガイドスキル向上のための研修を実施する。	△		
			観光交流センター来訪者数(人)	-	284,610	294,204	300,099	300,000	341,935	114.0%	目標は順調に達成しており今後も工夫しながら維持していく。	同じ大和八木駅南に分庁舎がオープンしたことで、住み分けと連携が必要となる。	○		

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
6. 活力と 賑わいの ある元気 なまち	1. 安全で 豊かな消 費生活の 充実	●生活交通課	消費生活相 談件数 (件)	798	783	691	644	600	547	91.0%	相談窓口の効果 的な周知が必要 であった	公共施設を利用 した消費生活セ ンターの更なる 周知啓発が必要	△	
			消費生活セ ミナー・出 前講座等の 受講者数 (人)	1,032	4,129	4,134	4,331	1,200	3,919	327.0%	消費生活相談の 年齢別割合が多 い高齢者向けセ ミナーの機会が 少なかった	消費者問題に対 する知識修得の 機会や情報発信 を積極的に努め る	○	
	2. 魅力あ る農業の 推進	●産業振興課 道路河川課 農業委員会事務局	遊休農地面 積の比率 (%)	2.9	3.5	3.2	3.2	3	2.9	97.0%	概ね達成してい る	政策指標目標値 通り推移してい る	△	
			認定農業者 数(人数)	25	26	27	29	28	30	107.0%	達成している	政策指標目標値 通り推移してい る	○	
			農用地利用 集積面積 (ha)	14	13.5	19.6	22.9	25	37	148.0%	達成している	政策指標目標値 以上に推移して いる	◎	
	3. 商工業 の活性化	●産業振興課	商店当たり 年間商品販 売額(年間 商品販売額 /商店数) (商業統計 調査)(百 万円)	194.46	194.46	185.4	185.4	200	229.9	115.0%	達成している	計画通り推移し ている	◎	
			人口1,000 人当たり第 二次産業事 業所数(事 業所・企業 統計調査) (箇所)	6.0	6.0	5.6	5.7	6.5	5.3	81.5%	新規企業の誘致 による、新たな しごとづくり、 雇用の創出がで きなかった。	企業立地を促進 するため、新業 種の追加・支援 内容の追加を行 う必要がある。	○	
			人口1,000 人当たり第 三次産業事 業所数(事 業所・企業 統計調査) (箇所)	31.16	31.16	32.6	32.7	33	31.2	94.5%	概ね達成してい る	地域に根ざした 商業活動を支援 し、今後も地域 経済の活性化を 図る。	○	
			市民市内就 業者数(国 勢調査) (人)	21,861	21,861	21,861	22,718	22,500	22,718	101.0%	達成している	計画通り推移し ている	◎	

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
1. 計画的な土地利用の推進	●地域創造課 緑地景観課 建築指導課	地区計画の策定(地区数)	9	9	9	9	11	11	100.0%	特になし	特になし	○		
			2. 市街地整備の推進	●八木駅周辺整備課 地域創造課 生活交通課	バリアフリー特定事業計画推進事業の進捗率(%)	35	38	-	41.8	70	52	74.0%	大掛りになる部分の計画が進んでいない。	鉄道駅のバリアフリー化への補助を行いつつ、ソフト事業の推進をはかる。
3. 安全で快適な道路の整備	●道路河川課 建設管理課	道路改良率(%)	66.51	67	67.34	67.52	67.5	67.67	100.3%	特になし	道路は、市民生活に密着した基盤施設であり、今後も計画的に整備に努めていく。	○		
		街路(今井地区)整備率(%)	91.83	90.44	93.26	95.92	100	97.56	97.6%	特になし	社会資本整備総合交付金事業として早期に完了し、今井地区の観光客数の増進を図る。	△		
		主要橋梁修繕率(%)	—	0	2.2	9.89	13	10.99	84.5%	特になし	防災・安全の観点から定期的に点検を実施し、結果に基づき補修等の対策を行う。	△		
4. 上下水道の整備	●経営総務課 環境衛生課 上水道課 下水道課	下水道処理人口普及率(%)	72	74	76	77	75	78	104.0%	特になし	広報活動等の更なる拡充	○		
		水道普及率(%)	99.92	99.93	99.94	99.96	99.99	99.98	99.99%	特になし	広報活動等の更なる拡充	○		
5. 河川環境の整備と維持	●道路河川課	公共下水道(雨水)計画区域整備率(%)	46.1	46.16	46.25	86.3	86.5	86.3	99.7%	目標は概ね達成できた。	浸水・治水対策の継続	◎		
6. 快適な住環境の整備	●住宅政策課 建築指導課	公営住宅利用率(%)	89	89	89	86	95	83	87.3%	特になし	バリアフリー化に努め、経年劣化に伴う修繕を適切に行い住宅を供給する。	△		
7. 緑豊かな憩いの場の整備	●緑地景観課 産業振興課	地域住民と維持管理協定を締結した公園数(箇所)	163	169	170	173	180	188	104.4%	特になし	今後も適正に公園管理を実施していく	○		
		市民1人当たりの都市公園等の面積(m <sup>2</sup> )	7.37	8.2	8.6	8.5	9	8.9	98.9%	特になし	今後も適正に公園管理を実施していく	○		

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
7. 快適な生活を育むまち	8. 人と自然が共生できる地域づくり	●世界遺産・文化資産活用課 産業振興課	観察会や観察教室、イベント等の開催回数(回)	53	46	50	56	35	60	171.4%	職員の人員配置を考え、観察会や観察教室等を行なったがボランティアの方の参加・協力が少なかった。	最小限の職員数で対応し、ボランティアからの提案も盛り込みながら、参加しやすい環境づくりが必要である。	◎	
			出前講座の回数(回)	34	41	24	38	26	28	107.6%	大和三山をはじめ鎮守の森や昆虫館周辺の豊かな里地・里山での自然との共生や生物多様性について学べる体験型の出前授業ができなかった。	学校と密に連絡を取りながら、生物多様性に基づく学校のニーズに合った学習支援授業を行い、環境教育について貢献する。	○	
			昆虫館の利用者(人)	76,310	76,013	81,771	9,470	75,000	97,642	130.1%	フェイスブック等のSNSを活用した情報発信ができなかった。	標本資料の整理や企画展等での一般公開及びフェイスブック等のSNSを活用しながら情報発信を行ない、クラフトづくりなどの参加・体験型の小人数制のミニイベントで入館者増を図る。	○	
9. 歴史的町並み及び集落景観の保全	●今井町並保存整備事務所	修理・修景件数(件)	269	279	300	308	300	317	105.7%	修理・修景件数については、事業が順調に推移し目標値を達成できた。	重要施策として今後も事業を継続する。	◎		
		街なみ環境整備事業進捗率(%)	86	88	90	91	97	91	93.8%	事業者や地元との調整に時間を要したため、計画に多少の遅れが生じているが、着実に事業を実施している。	計画については、必要期間を十分把握し策定する。重要施策として今後も事業を継続する。	△		
		来訪者数(今井まちなみ交流センター)(人)	30,556	28,703	33,769	32,188	40,000	32,802	82.0%	来訪者数は増加傾向であるものの、目標を下回った。	来訪者の増加に向けて、関係機関や住民団体とさらなる連携が必要である。	△		

目指す都市像 (政策)	施策	実績 (何をしたか・達成した数値は)										達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
		課名														
		●は主担当課	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)							
	10. 良好な都市景観の形成	●緑地景観課	景観が守られていると感じる市民の割合 (%)	-	-	-	-	50	-	-	景観計画等により規制をしてきたが、指標を計るアンケート調査が実施されなかった。	景観計画策定から、数年経つため見直しを検討している。	○			
			幹線道路沿道における違反広告物の割合 (%)	62	62	-	-	-	-	-	-			-	後期基本計画より施策指標としなかったため。	

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は主担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄	
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)						
8. 持続可能な環境をつくるまち	1. 廃棄物の減量化と適正処理	●環境企画課 環境業務課 環境保全課 環境衛生課	一般家庭ごみ収集量(生ごみ、粗大、不燃ごみ等)(t)	26,424	25,953	25,785	25,045	24,762	24,688	99.7%	ごみ排出困難者に対する収集運搬体制の構築	少子高齢化などの社会構造の変化や多様化する排出形態に応じた収集運搬体制の構築	○		
			●環境企画課 環境業務課	集団回収量(t)	2,649	2,705	2,522	2,402	2,648	2,116	78.3%	特になし	活動の普及・促進に向けた環境整備	△	
			●環境企画課 環境保全課	リサイクル館かしはら入館者数(人)	13,232	16,224	14,306	14,296	9,800	14,231	145.2%	特になし	減量化や資源化に効果的な事業内容に改善	○	
			●環境企画課 環境衛生課	リサイクル館かしはらに係る資源化量(t)	2,836	2,752	2,786	2,636	3,603	2,662	73.9%	特になし	新たな有用資源の回収及び循環利用の検討	△	
			●環境企画課 環境衛生課	し尿・浄化槽汚泥処分量(t)	28,144	27,094	26,110	25,298	23,680	25,174	106.3%	特になし	更なる施設運営管理の効率化	○	
	2. 環境保全活動の推進	●環境衛生課 産業振興課 環境業務課 環境保全課	大和川の恒久的な環境基準の達成(BOD:5mg/l)(75%平均)	3	2	2	4	5	2.5	50.0%	夏休み生き物調査隊事業(28・29年度)	費用対効果を見極めた事業展開	○		
			●環境衛生課 環境保全課	温暖化対策啓発事業・市民講座の参加者数(人)	1,950	3,350	5,080	4,209	3,000	800	26.7%	特になし	費用対効果を見極めた事業展開	○	
	3. 斎場・墓園の維持管理	●環境衛生課 緑地景観課	斎場等使用件数(件)	94	100	82	73	125	93	93.0%	特になし	施設の改修及び利用の広域化	◎		
			●環境衛生課 緑地景観課	合葬式墓地地下合葬室利用率(%)	6.28	7.72	9.06	11.1	7	13.2	180.8%	特になし	今後も適正に管理していく	○	
			●環境衛生課 緑地景観課	合葬式墓地個別安置利用率(%)	7.95	9.4	10.4	11.85	8	13.05	161.1%	特になし	今後も適正に管理していく	○	

目指す都市像 (政策)	施策	●は主担当課	実績 (何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	主担当課 評価	備考欄
			課名	施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)					
9. 市民と行政の協働を進めるまち	1. 市民との協働	●市民協働課 広報広聴課	市内に拠点を持つNPO法人数(団体)	37	44	44	46	33	48	145.0%	特になし	特になし	◎	
			市民活動交流広場の利用者数(人)	15,486	15,069	18,032	15,031	17,800	16,159	90.8%	特になし	市民活動相談員の資質の向上	○	近隣火災の延焼で28、29年度に利用が減少
			出前講座の参加人数(人)	7,009	4,478	5,721	4,134	7,000	4,249	60.7%	特になし	魅力ある講座内容への更新	△	
			市民活動交流広場のNPO・ボランティア団体登録件数(件)	185	209	208	207	250	200	80.0%	特になし	学生など若いボランティアの育成	△	
	2. 地域コミュニティ活動への支援	●市民協働課	自治会加入率(%)	85	85	84	84	90	83	92%	加入世帯数は増加しているが、それ以上に世帯数の増加があったため目標値を達成できなかった。	自治会の基盤強化の取組を継続する必要がある。	△	

目指す都市像 (政策)	施策	課名 ●は担当課	実績(何をしたか・達成した数値は)							達成度 (単位%)	未実施事項 (5年間を振り返って、 何ができなかったか)	今後の課題 (5年間を振り返って 何をなすべきか)	担当課 評価	備考欄
			施策指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標値)	29年度(実績)					
10. 信頼される行政を進めるまち	1. 行政改革の推進	●企画政策課 総務課 資産経営課 財産活用課 契約検査課	行政改革実施計画の改善率(%)	81	77	85	87	100	66	66%	遅れている事業が散見された。	実施計画と行政評価を統合し、効果的にフォローしていく	△	
	2. 安心と信頼の市役所運営	●企画政策課 資産経営課	懲戒件数(戒告以上)(件)	3	4	1	3	0	0	100%	特になし	引き続きコンプライアンス強化に取り組む	○	
		財産活用課	市役所業務のうち事務系にかかる温室効果ガス排出量(t)	5,374	5,290	5,208	5,499	5,918	5,520	100%	特になし	温室効果ガス削減目標達成のための事業展開	○	
		市民窓口課												
	3. 財政健全化の推進	●総務課 資産経営課 財産活用課 税務課	地方債残高(一般会計)(円)	40,819,539	39,262,575	38,504,258	36,784,234	38,520,797	37,853,491	101.8%	特になし	起債の適正な管理	○	
		収税課	当初予算における一般財源の割合(一般会計)(%)	64	56	62	63	65	60.8	93.5%	特になし	更なる一般財源割合の上昇	○	
		人権政策課	収納率(国民健康保険税を除く)(%)	94	94	95	95	95	95.6	101.0%	特になし	更なる収納率の向上	○	
		会計課												
	4. 情報発信の充実	●広報広聴課 情報政策課	webサイトトップページアクセス数(千件)	512	590	639	628	517	557	108.0%	特になし	新システム構築等により情報発信の充実を図る。	○	
			webサイト総ページビュー数(単位:千頁)	5051	5761	6223	6344	6133	6056	98.0%	特になし	新システム構築等により情報発信の充実を図る。	○	
	5. 人づくりの推進	●人事課	他団体への長期派遣研修(件)	4	1	2	1	6	2	33.3%	長期派遣研修への積極的な働きかけ	職員派遣のあり方の見直し	×	
			管理職以上の役職に占める女性職員の割合(%)	22	22	21.7	21.9	30	24.2	80.6%	職員への意識啓発	職員への意識啓発	○	
			公募制で実施した研修数(件)	33	35	46	44	25	40	160.0%	特になし	特になし	◎	
			自己申告書の回収率(%)	33.3	35.5	40.9	42.8	60	40.8	68.0%	職員への周知	職員への周知	△	